

# 平成27年度 高知大学 出前公開講座 [in 芸西村]

募集定員  
-各クラス-

**30名**

日程：平成27年7月9日(木)～8月4日(火)  
場所：芸西村生涯学習館 2階 学習室

受講料

**無料**

## 開 講 講 座 一 覧

第1回：7月9日(木)

午後7：00～8：45  
(開講式含む)

「2060年の芸西村  
をどう描くのか？」

高知大学副学長・地域連携推進センター長  
高知大学総合科学系生命環境医学部門 教授  
うけだ ひろゆき

**受田 浩之**

第2回：7月16日(木)

午後7：00～8：30

「お金をかけずに  
できる子どもの  
可能性を引き出す  
教育(続編)」  
-折れない  
心の育て方-

高知大学 人文社会科学系  
教育学部門 准教授  
かしま まゆみ

**鹿嶋 真弓**

第3回：7月23日(木)

午後7：00～8：30

「防災を軸にした  
地域活性化  
～共助から  
協働へ～」

高知大学 総合科学系  
地域協働教育学部門 講師  
ふじおか まさき

**藤岡 正樹**

第4回のみ 場所：芸西村民会館ホール

第4回：7月30日(木)

午後7：00～8：30

「運動初心者のため  
の健康づくりと  
フィットネス講習会  
(入門編)」

動きやすい服装・タオル・飲み物持参のこと。  
また、ヨガマットをお持ちの方はご持参下さい。

高知大学 人文社会科学系  
教育学部門 講師  
つねゆき やすこ

**常行 泰子**

第5回：8月4日(火)

午後7：00～8：45

(閉講式含む)

「"コミュニケーション能力"  
ではなくて、  
"コミュニケーションの…力"  
を」

高知大学 人文社会科学系  
人文社会科学部門 准教授  
ますだ まさひろ

**増田 匡裕**



修了証書

あなたは平成●●年度高知大学  
公開講座「●●●●●」を受講し  
所定の課程を修了しました  
よってこれを証します

平成●●年●●月●●日  
高知大学長  
脇口 宏

**無料託児所** を開設します。ご利用ください。

申し込み日 各講座の前日まで

申し込み先 芸西村企画振興課 (TEL 0887 - 33 - 2114)

※当日の参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込み下さい。

主催：高知大学地域連携推進センター・域学連携推進部門／共催：芸西村

受講される方には  
テキストを配布し、  
3回以上出席された  
方には修了証書を  
授与します。

# 講座題目・講師一覧

開催日	時間	講座の内容と講師
第1回 7月9日 (木)	19:00～ 19:15	開 講 式
	19:15 ～ 20:45	<b>題目</b> 2060年の芸西村をどう描くのか？ <b>講師</b> 受田 浩之 <b>【内容】</b> 皆さんは芸西村の2060年をイメージしたことがありますか。現在、国は各自治体の2060年における人口が何人になるのか、いや何人にするのかを「人口ビジョン」として設定することを求めています。もちろん単なる願望にならないために、その実現に向けて必要とされる戦略を「総合戦略」として、5年単位で策定することも必要とされています。本講座では、2060年に向けた芸西村の「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定に向けて考えるべき様々な視点について総合的に解説し、皆さんと共に未来の芸西村を描く場にしたいと考えています。
第2回 7月16日 (木)	19:00 ～ 20:30	<b>題目</b> お金をかけずにできる子どもの可能性を引き出す教育(続編) — 折れない心の育て方 — <b>講師</b> 鹿嶋 真弓 <b>【内容】</b> 教育費にはお金がかかります。「お金をかければ賢い子が育つ」って本当でしょうか？お茶の水女子大学委託研究(平成20年度)によると、保護者の子どもへの接し方や普段の行動と学力との関係は、統計学的に有意な関係があることが明らかになっています。どのような接し方や行動が子どものやる気をくみ、可能性を引き出すのでしょうか。また、成長のプロセスで心が折れてしまっただけでは元も子もありません。 今回は続編ということで「折れない心の育て方」についてもふれたいと思います。お金をかけずにできる、よりよい教育の方法と一緒に体験してみましょう。
	19:00 ～ 20:30	<b>題目</b> 防災を軸にした地域活性化～共助から協働へ～ <b>講師</b> 藤岡 正樹 <b>【内容】</b> 阪神淡路大震災以降、地域防災は、自助、共助、公助の三位一体を合言葉に、役割分担の明確化が行われ、自主防災組織による活発な活動が進められてきた。しかし、防災組織においても高齢化は進み、防災活動のマナー化とも重なり組織の存続が危ぶまれている。この最大の理由として防災には生産性がない故の必然性がないことがあげられる。すなわち、これまでの防災活動は、ただ安心・安全につながりさえすれば、よいとされてきたのだ。 新しい防災として、協働の概要を取り入れることで、これまでの防災には無かった地域活性化につながる「何か」を生み出し、その「何か」の生産性を高めてゆく方法について事例とともに考えてゆく。
第4回 7月30日 (木)	19:00 ～ 20:30	<b>題目</b> 運動初心者のための健康づくりとフィットネス講習会(入門編) <b>講師</b> 常行 泰子 <b>【内容】</b> 運動初心者や運動から長期間遠ざかっていた方を対象とした『高知大学発！フィットネスプログラム』を実施します。インナーマッスルを強化するピラティスやヨガ、ストレッチの動きをベースに、初心者の方でも無理なく動ける研究成果から生まれた新しいメソッドを体験しませんか。お腹周りが気になる方や関節の動きを良くされたい方など、年齢や性別を問わず歓迎いたします。さらに、どのような運動がどのような効果を持つのか？理論と実践と踏まえてお伝えします。ぜひお誘い合わせの上、お越しください。【動きやすい服装・タオル・飲み物持参のこと。また、ご自身のヨガマットをお持ちの方はご持参下さい。】
	19:00 ～ 20:30	<b>題目</b> “コミュニケーション能力”ではなく、“コミュニケーションの…力”を <b>講師</b> 増田 匡裕 <b>【内容】</b> 「コミュニケーションの達人」に憧れる人は多いでしょう。何かすごい能力を持っているようで、とてもかっこよく見えます。他方、人づきあいがうまくいかない人や自分勝手に見える人たちは、そういうものがないように思われがちです。そういう人たちは何とかするために、自分たちが更に特殊な「能力」を身につけないといけないと思っている、向上心にあふれた人もいます。でも、ちょっと待ってください。コミュニケーションは個人の「能力」で済む話ではありません。相手があってこそそのものなのです。「自分という個人」と「相手という個人」の出会いの場面では、既に何かの「力」が働いています。その場で生まれた「力」なのかも知れません。これを冷静に見つめてから、自分の手持ちの「能力」を十分活かせば良いのです。 「え？どういふこと？」と驚かれた方、是非お越しください。
第5回 8月4日 (火)	20:30～ 20:45	閉 講 式 (修了証書授与)

## — ご 案 内 —

高知大学ラジオ番組

『THE こうちユニバーシティ CLUB』

～毎週日曜日 休日の朝のひととき

【9時半からの25分間】ぜひお楽しみ下さい。～

「THE こうちユニバーシティ CLUB」では、学生、教職員、OB・OG、保護者、そして高知大学の絶大なサポーターである地域の皆様それぞれの目線で、高知大学が行っている教育、研究、地域貢献、また未来を創造する人材の育成、地域の皆様方との触れ合いについてお伝えします。

HISIX FM 高知 <http://www.fmkochi.com/>

高知大学地域連携推進センター、  
域学連携推進部門では、いろいろな学習の場  
を提供しています。  
なんでもお気軽にご相談下さい。

お問合せ先: 高知大学 地域連携推進センター 域学連携推進部門  
 連絡先: TEL 088-844-8454/FAX 088-844-8556  
 E-mail: [kokaikoza@kochi-u.ac.jp](mailto:kokaikoza@kochi-u.ac.jp)  
 HP URL: <http://www.kochi-coc.jp/>



高知大学  
KICS  
KOCHI UNIVERSITY  
INSIDE COMMUNITY SYSTEM  
HP: <http://www.kochi-coc.jp/>